

日時：平成 30 年 6 月 5 日（火）10：00-12：00

場所：かがわ総合リハビリテーション福祉センター A V 会議室

参加者：高松養護学校、高松市障がい福祉課、直島町住民福祉課

就労支援部会）障害者就業・生活支援センターオリーブ

精神保健福祉部会）障害者地域生活支援センターほっと

相談支援部会）障害者生活支援センターたかまつ

知的障害者支援部会）相談支援センターりゅううん

発達障害部会）発達障害者支援センター「アルプスかがわ」

こども部会）地域生活支援センターこだま

居宅サービス事業所連絡会）高松市社会福祉協議会・地域活動支援センタークリマ

医ケアプロジェクト）支援センターこがも

当事者団体・家族会連絡会）相談支援事業所ライブサポートセンター

事務局）高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

会長）高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

16 名

議題①各部会等報告

・就労支援部会

今年度新たに広報委員会を設けた。特に、一般の高校、大学、専門学校の就職担当者に対する PR に取り組む。11 月に実施する雇用フォーラムについては、「特性に応じた仕事の切り出し方」がテーマ。企業の需要もあるのではないかと思われる。

・精神保健福祉部会

退院促進のため、連携会議で病院の訪問を計画している。

・相談支援部会

モニタリングの期間が短くなったことの対応として、契約しているケースを減らして調整している事業所がある。GSV では 3 グループに分かれて 1 例を検討した。

・身体障害者支援部会

アンケートの対象者は、18 歳以上 65 歳未満の障害福祉サービスの利用者と支援者。有効調査とするために必要な枚数を確認の上、依頼する事業所を選定し、調査への協力を依頼する。

・知的障害者支援部会

特記事項なし。

・発達障害部会

特記事項なし。

・こども部会

5/31 第一回児童発達支援・放課後等デイサービス事業所連絡会に出席した。職員の確保に課題があり、多くの事業所はハローワークに求人を出すほかの手段がない。人員が少ないことで個別支援が十分できないなどの悩みもある。第1回こども部会は6/22開催予定。

※5/24に教育と福祉の連携に関する通知が出されている（教育委員会と福祉部局が共に主導し、学校と障害児通所支援事業所等との関係を構築するための「連絡会議」などの機会を定期的に設けること、支援に係る情報や相談窓口が一目で分かるような、保護者向けハンドブックの作成、等）

- ・医ケアプロジェクト

5/21 第2回のプロジェクトを実施。行政・福祉・教育の分野で医療的ケアに関する情報交換を行った。次回8月には医療分野の方（MSW、訪問看護、可能であれば医師も）に参加してもらい、その課題を確認する予定。

- ・当事者団体・家族会連絡会

7/23に第1回目の連絡会を実施予定。

- ・居宅サービス事業所連絡会

7/10に第1回目の連絡会を実施予定。現在返事が10件、申し込みは5名の状況（締切6/20）。相談支援部会に、メールでの会員への参加案内を依頼したい。参加者が少ない状況が続いている背景には、人材不足からサービス提供責任者自身も現場の支援に入っている事業所も多く、70代ヘルパーの（再）登用も検討されている等の現状もある。

- ・中核-地域合同会議

6月に相談支援部会で相談支援専門員を対象に研修を実施予定。7月末までに、アクションプランに基づき、地域拠点担当者が各エリア内の居宅介護支援事業所を訪問し、PR実施予定。市内で緊急ケースを1例中核で対応中（措置対応）。

議題②全体会の振り返りについて

2回目については、一つのテーマで各部会が発言できるような形ができるとよい。例えば、「教育と福祉の連携」についてなど。

議題③5/21開催「H30第1回児童発達支援・放課後等デイサービス事業所連絡会の報告」

こども部会の報告で共有。略。

議題④県自立支援協議会の報告

研修制度の変更について、人材育成WGで検討されている。権利擁護部会、差別解消法事例検討部会も今月実施されている。

議題⑤その他

- ・日常生活用具の給付について
特に特殊マットについて金額が実情に見合っていない。身体障害者支援部会でアンケートと並行して対応を検討していく。
- ・7/9 高松圏域のサービス管理責任者を対象に、現任研修を実施予定。

次回 7月13日（金）10：00-12：00 かがわりハAV会議室にて。*9：15-9：45 打合会